

## 令和7年度 第3回 深伊沢小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年10月28日(火) 13:15~14:50

2 場 所 会議室(各教室にて見学)

3 あいさつ(学校長、委員長)

(委員長より)・縦割り掃除や授業の様子も見せていただけるので、それを見て、実りある話し合いにしたい。

(学校長より)・運動会が終わり、音楽会に向かっている。縦割り掃除や授業の様子も見ていただくので、気づいたことを教えていただきたい。FCEの計画についても、ご協議いただきたい。

3 見学

(1) 縦割り掃除 15分間の縦割り掃除を自由に見ていただく。

(2) 授業見学

1年 図書「学校図書巡回指導員による読み聞かせ等」

2年 算数「九九のテスト」

3年 算数「かけ算のひっ算」

4年 図工「読書感想画 ~にじ・じいさん~」

5年 道徳「おばあちゃんからもらった命」

6年 算数「角柱・円柱の体積」

特別支援学級「算数の個別学習」

4 協議内容

(1) 全国学力・学習状況調査と生活アンケート分析について

・「協働学習をしている」の回答が100%であった。

・家庭学習が1日10分未満は、宿題もあるのに少ないと思う。

・社会性は、人として一番大切な部分である。これから養われるとよい。

・数値はアンケートをとった時期にもよる。何かトラブルがあったりして話し合うなどすると低くなる。また、自分に厳しいと低くなる。

・2年生のおもちゃランドの取り組みで、1年生の面倒をみたり、高学年では運動会の表現種目を自分たちで創意工夫して取り組んだりしたことが、自己肯定感の向上につながることを願っている。

(2) FCE(深伊沢コミュニティイベント) 11月29日(土)について

- ・伊船東の老人会の代表者も出席された。当日は10名程参加し、昔遊びを手伝っていただく予定である。
- ・第1部は、深伊沢小学校創立150周年の聞き取り学習の発表会(5年生)と小中学校音楽会に向けてのプレ発表会(4,5年生)を行う。
- ・第2部は、外国人の方を約10名招いて、低・中・高学年に分かれて、多文化共生教育の学習を行う予定である。
- ・第3部は、老人会の方をゲストティーチャーに招いて、昔遊びの体験を縦割り班で行う予定である。時間の都合で、折り紙からおはじきに変更した。
- ・非常時の炊き出しの訓練を兼ねて、豚汁の炊き出しを行う。13:25下校。

### (3) 情報交換について

- ・今の先生方はパソコンなど教えることが多く、大変である。初めてタブレットを使った授業を見学した。
- ・最近はすぐにインターネットや電子辞書を使い、国語辞典を使わなくなつたが、アナログのよさもある。辞書なら調べたいことの周辺のことも調べられる。
- ・教職員の盗撮が問題になっているが、鈴鹿市では、教職員は教室に携帯電話を持ち込まないルールとなっている。

## 5 今後の予定

第4回～第6回の学校運営協議会、人権フォーラムれいほうの日程確認

## 6 教育委員会より

- ・運動会や環境整備で毎週のように学校に来ていただいていることに感謝申し上げる。縦割り掃除では、高学年が低学年の子の世話をしていて、ほほえました。3,4年生の位置づけや役割を明確にする工夫が必要である。
- ・掃除にクロームブックを活用していて驚いた。画面に役割分担が載っていた。
- ・授業参観を見て、落ち着いている学校であると感じた。友達と話し合いながら、非常に熱心に話していて、協働的な学びであった。単線型授業は、教師が話しこどもは黙って聞く授業であるが、複線型授業は、教師が出した課題について、いろいろ方法を見つけて解くものである。今日は3,6年生が行っていた。必ずICTを活用しなければいけないわけではなく、辞書やICTなど、いろいろなものを使って豊かにしていくとよい。アナログを使わないということではない。
- ・全国学力・学習状況調査についても、地道に努力し、平均を超えている。

・児童質問については、鈴鹿市が力を入れている非認知能力で全国平均を下回る項目もあったが、自分に厳しい評価の子もいる。学級でよく話し合った今、アンケートを行ったら、高まったかもしれない。年度末に評価してもらうとよい。

4年生以上は、非認知能力の目標を廊下に掲示しており、自分はどうがんばっていくかを自己評価していく、すばらしい。

・FCEは、地域とのイベントで、いろいろなテーマを決めて、取り組んでいる。創立150周年聞き取り発表も含めて、多文化共生学習や昔遊びを行う。昔遊びでは老人会の方も招くが、昔のこどもは自分で遊びを工夫していた。けん玉など、遊びの幅が広がればよい。スクリーンタイムが減り、アナログの遊びの体験が増えるとよい。